

LSフォーム

従来のガラス繊維による引張強度の補強効果に加え、補強材と緊張材による複合効果で、これまで以上の曲げ耐力を実現

農業農村整備民間技術情報データベース(NNTD) 登録No.1213



特長

1.現場施工を合理化

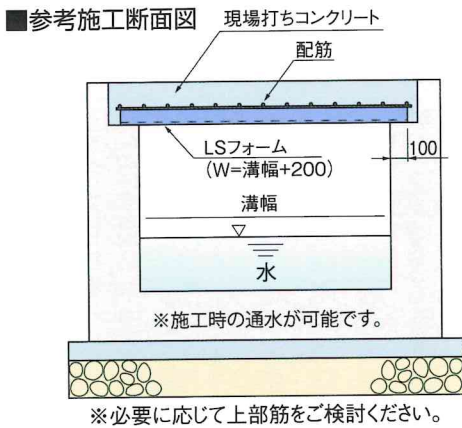
ノーサポート、解体作業の解消、残材発生の解消。

2.作業効率の向上

- 製品重量:69kg/枚で人力による施工が可能です。重機の入らない狭小な現場や、急峻現場でも効率的に作業ができます。
- 耐荷重150kg/m²。製品の上で作業ができます。
※1枚に二人以上は乗らないでください。

3.コンパネ不使用による森林資源保護

4.ダイヤモンドカッターによる現場加工が容易

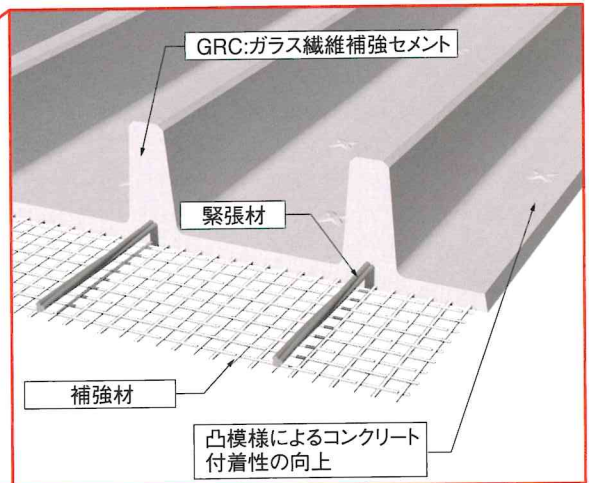
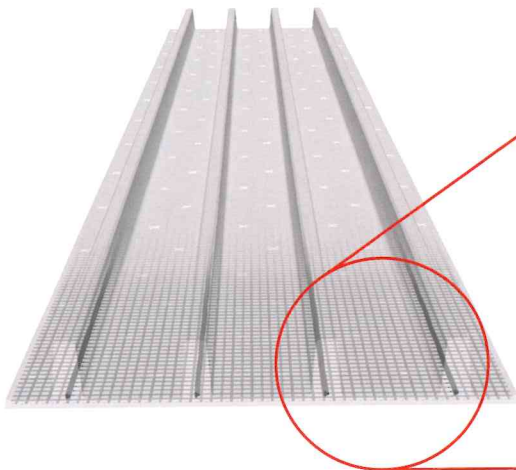


用途

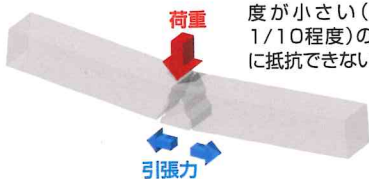
●長スパン用埋設型枠

溝幅1400以上の側溝暗渠型枠、建築、橋梁スラブ向け型枠等

■製品構造図



【無筋コンクリート】



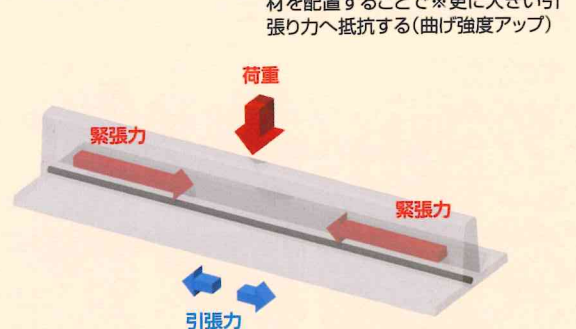
コンクリートだけは引張り強度が小さい(圧縮強度の1/10程度)ので、引張り力に抵抗できない。

【鉄筋コンクリート】



引張り部分に鉄筋を配置して引張り力に抵抗する。

【プレストレストコンクリート】



鉄筋のかわりに緊張力をかけた緊張材を配置することで※更に大きい引張り力へ抵抗する(曲げ強度アップ)

※プレテンション方式によるプレストレス導入